



2025年2月13日

各位

会社名 ベイシス株式会社
代表者名 代表取締役社長 吉村 公孝
(コード番号: 4068 東証グロース)
問合せ先 経営管理本部長 今井 未来也
(TEL. 03-6435-9907)

2025年6月期第2四半期(累計)業績予想と実績値との差異および

通期業績予想の修正に関するお知らせ

2024年8月14日に公表した2025年6月期(2024年7月1日~2025年6月30日)の第2四半期(累計)連結業績予想と本日公表の実績値との間の差異および通期の連結業績予想の修正について、下記のとおりお知らせいたします。

記

I. 2025年6月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績との差異 (2024年7月1日~2024年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	3,701	△37	△45	△66	△35.71
実績(B)	3,920	91	83	50	27.64
増減額(B-A)	219	129	128	117	-
増減率(%)	5.9%	-%	-%	-%	-
(参考)前期実績	2,884	△67	△68	△58	△31.59

II. 2025年6月期通期連結業績予想の修正 (2024年7月1日~2025年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	7,920	103	93	51	27.92

今回修正予想（B）	7,920	135	129	71	38.59
増減額（B－A）	0	31	35	19	-
増減率（％）	0.0%	30.9%	38.1%	38.1%	-
（参考）前期実績	6,822	81	78	17	7.07

III. 差異および修正の理由

① 2025年6月期第2四半期（累計）連結業績予想と実績との差異の理由

IoTエンジニアリングサービスにおいて、利益率の高いストック案件が増加したこと、および、案件単価上昇アクションが奏功した結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益はいずれも2024年8月14日に公表した予想数値を上回る結果となりました。

② 2025年6月期通期連結業績予想の修正の理由

第2四半期（累計）の業績が当初想定を上回ったことを踏まえ、通期の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益も増加する見込みであります。

<2025年6月期第2四半期決算説明資料より抜粋>

2025年6月期 第2四半期決算説明資料 | 2025年6月期 通期業績予想

2025年6月期業績予想（上方修正）



IoTエンジニアリングサービスのストック案件増加と案件単価上昇施策により、売上総利益が改善し、通期営業利益を1億3,500万円（当初予想の130.9%）に上方修正。

（単位：百万円）	2024年6月期 実績 ※連結	対売上高 比率	2025年6月期 当初予想 ※連結	対売上高 比率	前年同期差 （前年同期比）	2025年6月期 修正予想 ※連結	対売上高 比率	前年同期差 （前年同期比）	当初予想差 （当初予想比）
売上高	6,822	-	7,920	-	+1,098 (116.1%)	7,920	-	+1,098 (116.1%)	±0 (100.0%)
売上総利益	1,595	23.4%	1,732	21.9%	+136 (108.5%)	1,764	22.3%	+168 (110.5%)	+31 (101.8%)
販管費及び一般管理費	1,514	22.2%	1,629	20.6%	+114 (107.5%)	1,629	20.6%	+114 (107.5%)	±0 (100.0%)
営業利益	81	1.2%	103	1.3%	+22 (127.3%)	135	1.7%	+53 (166.6%)	+31 (130.9%)
経常利益	78	1.1%	93	1.2%	+15 (119.9%)	129	1.6%	+51 (165.5%)	+35 (138.1%)
当期純利益	17	0.3%	51	0.7%	+34 (300.2%)	71	0.9%	+54 (414.6%)	+19 (138.1%)
1株あたりの当期純利益(円)	7.07	-	27.92	-	+20.85	38.59	-	+31.52	+10.67
EBITDA	138	2.0%	182	2.3%	+43 (131.8%)	210	2.7%	+72 (152.6%)	+28 (115.8%)

©Basis Corp. | ベイシス株式会社（証券コード：4068） | 25

（注）上述の業績予想等は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上